

校内研修計画

甲州市立松里小学校

1. 学校課題

本校では、昨年度より「算数科」において課題を理解し自分の考えを持って「学びをつくる」ことをめざし研究を進めてきた。校内研究を学力向上という今日的な教育課題を意識して、系統性の高い算数科で進めることは、共通理解が図られやすく研究の方向性を具体的にして取り組むことができると言える。

初年度は基礎学力を身につける手立てとして朝学習と家庭学習ノート「松小☆かがやきノート」への取り組みを始め、基礎学力の積み上げや学習習慣の体制づくりを家庭と連携し行った。

また、研究授業を2本行うことで「考える力」を育むための既習事項の大切さ、思考を引き出し整理する操作活動やワークシートなどのあり方、思考を深める視点の与え方、効果的な伝え合う活動の取り入れ方についてなど様々な指導が有効であることが明らかになった。

児童の算数アンケート「意識調査」からは、児童は算数科に対して学習の意義や必要性を感じており、意欲や関心が高まってきていることが伺われた。さらに、理解したことや気づきをノートに書くことも経験値を積むことができている。しかし、式や答えを出すときに理由を説明する事についてはまだ、自信が持てない様子が見られ、思考の曖昧さ、言葉で表現する難しさが浮かび上がってきている。

これらの状況から、昨年度に引き続き、基礎学力の定着と考える力を土台とした学びづくりに重点をおき今年度も研究を深めて行くことが課題であると考えます。

2. 研究主題

いきいきと学びをつくる子どもの育成
～ 算数科を通して、考える力を育む授業づくり ～

3. 主題設定の理由

研究主題『いきいきと学びをつくる子どもの育成』の「いきいき」とは、元気で活気があり子どもらしい姿である。子どもたちの「いきいきとした瞳」「いきいきとした表情、活動」が教室で生まれるような、意欲的な主体的な学びをつくり出していきたいと考える。

「学びをつくる」とは、学習課題を理解して、意欲的に課題に取り組み、問題解決に個人および集団で取り組む過程である。子どもの視点から見ると、課題がわかり、解決の方法が考えられ、試行錯誤しながらできるようになる楽しさや達成感を味わう過程といえるであろう。「いきいき」と意欲的に「学びをつくる」姿とは、まさに学習者として自立した姿と言えるであろう。

今年度も、この研究主題に迫るために、算数科における授業づくりを通して取り組んでいきたいと考える。系統性の高い算数科において基礎学力は学びをつくり出す大切な力である。今年度は基礎学力の定着を図るために、朝学習や自主学習の充実、発達段階に沿った図や式の表し方、視聴覚機器等の活用も取り入れていきたい。多様な方法で視覚的に繰り返し学ぶことで定着を目指したい。

さらに、子どもが問いを持ち問題解決に挑む「学びをつくる」過程においては次期学習指導要領で育成したい力である「アクティブラーニング」とも関連を図っていきたいと考える。

子どもたちに算数科でつけさせたい力を、「基礎学力」と「学びをつくる力」と捉え、そのための様々な指導の工夫と、「学びを支える取組」を共に行うことで『いきいきと学びをつくる子どもの育成』に迫ることができると願い、本主題を設定する。

4. 研究の具体的内容と方法

(1) 具体的な研究内容

○基礎学力を身につける指導の工夫

- ・朝学習の充実（算数は2日以上。1日は読書）・家庭学習の習慣化（「松小☆かがやきノート」の継続）
- ・新しい知識や技能の定着（視覚的 ポイント）
- ・少人数、個別指導の充実（スモールステップ教材） ・タブレットPCの活用

○考える力を育む指導の工夫

- ・自分の考えをもつ場面設定や活動
- ・具体的な操作活動や体験的な活動
- ・授業の構造化
- ・絵や図、言葉や式を用いて考える得る活動
- ・伝え合う活動
- ・板書の工夫
- ・ノート指導（ティチャーズノート）
- ・アクティブラーニングの視点

○学びを支える取組（確かな学力プロジェクト）

- ・学習環境の整備（学習規律 生活習慣）
- ・集団作り（Q-Uテストの分析 児童の実態把握）
- ・意識調査（子どもの意識や変容を知る）

(2) 研究の方法

○算数科でめざす確かな学力についての研修

- ・講師を招いての理論研修
- ・授業研究会への参加（「確かな学力」育成プロジェクト）

○部会ごとの公開授業研究

○一人一実践

年間校内研修計画

研究主任 金子 佐由美

テーマ	教科領域	内 容	担当者	学年	授業の時期	T・C要請	
こころを育むための学力	算 数 科	校内研究の方向性と研究内容・研究体制	研究主任				
		研究内容・研究体制の決定	研究主任				
		部会の方向性 意識調査	部会				
		意識調査 Q-Uの分析とK13法の実施	部会				
		学習会「学びをつくる授業について」 一瀬先生	研究主任				○
		P①学級づくり学習会 藤川先生	全員参加				
		部会研究	研究主任				
		P②授業づくり講演会 市川先生	全員参加				
		自学ノート 授業案づくり（単元設定）	部会				
		教育課程還流報告 学習会 部会環流 授業案づくり Q-Uの分析とK13法の実施による2学期の取り組み	研究主任 部会				
		授業案検討 I	研究主任				
		授業実践提案 研究会 I	研究主任	2年生	10/5 (予定)	○	
		P③小学校授業研究会 盛山先生	全員参加				
		授業案検討 II	研究主任				
		授業実践提案 研究会 II	研究主任	3年生	11/2 (予定)	○	
		Q-Uの分析とK13法の実施 部会振り返り	研究主任				
		P④教育講演会 河村先生	全員参加				
		研究紀要分担 部会振り返り	部会				
		意識調査考察（2回目 部会まとめ） 研究紀要の内容と分担	研究主任				
		P⑤集団作り講演会 鹿嶋先生	全員参加				
		今年度の成果と課題について 部会交流	研究主任				
今年度のまとめと来年度へ向けて	研究主任						
研究紀要作成	研究主任						

